

レベル：国・道等の指針 or 学内状況		教職員	登校	授業	技術演習・GW	臨地実習	体育館・サークル	図書館	オープンキャンパス	来校者	
4	—	学内クラスターが発生した場合	学校の機能維持を最低限維持管理できる人員のみ出勤可 在宅ワークとする	登校不可	休講 もしくは、一部遠隔授業	不可	不可	閉館	中止	不可	
3	国が 緊急事態宣言 を行い、旭川市が 特定措置区域 となっている場合	クラスを超えて、濃厚接触者がみられる場合	積極的に在宅ワーク、ローテーション勤務、時差出勤とする	学内人数7割減(1/3程度※1) 学内での飲食原則不可	原則、遠隔授業 必要最小限の対面授業	技術演習：原則不可 モデル人形の活用 身体接触を伴う演習は、必要最低限の人数・時間とする グループワーク：原則不可(オンライン可) 対面での実施の際は、十分※2な感染対策を講じたうえで、必要最小限とする	原則学内実習 実習先と十分協議の上、安全が確保された場合のみ可	不可 体育館使用禁止 サークル活動停止	事前連絡があった場合のみ教職員管理下で使用可 同時利用は、同クラス学生のみとし、最大10名までとする。 貸出のみ	中止・延期 オンライン対応可 個別での来校希望者は、応相談	原則不可 本校から依頼した場合およびやむを得ない事情が発生した場合に限り、事前連絡の上、健康状態や行動履歴を確認した上で来校可
2	国が 緊急事態宣言 を行い、北海道知事から、不要不急の外出自粛を要請された場合(旭川が特定措置区域となっていない) まん延防止等重点措置地域 に該当し、旭川市内で感染経路が不明な感染者存在している場合	クラス内で、濃厚接触者が複数みられる場合	在宅ワーク、ローテーション勤務、時差出勤を推奨する	分散登校を推奨する	遠隔授業を推奨する	感染対策を講じたうえで実施可	実習先と十分協議の上、安全が確保された場合のみ可	教職員の管理下で使用可	感染対策を講じたうえで、利用可 図書館入室者数を最大10名に制限30分程の利用とする	レベル2に加え、全学科、地域、人数、校内使用施設など限定し開催 (流行地域からの参加不可)	不要不急の来校不可 特に流行地域からの来校は可能な限り控えていただく
1	国が指定する区域には当たらないが、地域内で散発的に感染者が発生している場合	感染者・濃厚接触者がいても、学外起因のもので、学内での感染が認められない場合	通常と同様の勤務 在宅ワークを推奨する	感染対策を講じたうえで、登校可	遠隔授業の利用を考慮する	感染対策を講じたうえで、実施可	実習先と協議の上、実施可	感染対策を講じた上で利用可	感染対策を講じたうえで利用可 図書館入室者数を最大20名に制限1時間程度の利用とする	時短実施(飲食不可) 看護学科は、1回20名以下とし、午前・午後の分散とする。 学生協力は、感染対策を講じたうえで実施	感染対策を講じたうえで、来校可 来校時は正面玄関で検温を実施
0	通常レベル										

※1 各学科定員数の1/3

※2 マニュアル上の感染対策に加え、フェイスシールド/アクリル板/ディスプレイブルグローブ/ディスプレイブルエプロン等の使用を検討する